

鏗木



鏗木清方《遊女》1918(大正7)年 横浜美術館蔵

清方展

没後45年

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

Kaburaki Kiyokata

2017年9月9日(土)～10月15日(日)

開館時間 9時30分～19時

(但し、日曜日は17時開館/初日9月9日のみ展示室入室は10時15分前/入室は開館30分前まで)

休館日 月曜日(但し、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)開館、9月19日(火)、10月10日(火)休館)

開展式 9月9日(土)10時

入場料 一般1000円(800円)/大学生500円(400円)/高校生以下無料

* ()内は前売及び20名様以上の団体料金

* 前売チケットは、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、

ゆめタウン高松サレスカウター、宮脇書店本店及び南本店にて9月8日(金)まで販売

* 身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

主催 高松市美術館

監修 島田康寛(美術評論家・今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員))

企画協力 鎌倉市鏗木清方記念美術館・公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団・青幻舎プロモーション

お問い合わせお申し込みは高松市美術館(TEL087-823-1711)まで

和装プレミアムデー —和装で鑑賞しませんか?

10月8日(日)
当日に限り、和装でお越しの方は無料で御入場いただけます。

講演会

全て、1階講堂にて/入場無料/定員:先着80名/事前予約不要・30分前より会場にて受付

記念講演会1「鏗木清方の生涯とその作品」

9月9日(土)13:30 ~ 15:00
講師:島田康寛(美術評論家)

記念講演会2

「文学と美術の邂逅—鏗木清方、泉鏡花、菊池寛を中心に」

10月8日(日)13:30 ~ 15:00
講師:福江成美(菊池寛記念館学芸員)、石田智子(当館学芸員)

記念講演会3「鏗木清方の美人画」

10月15日(日)13:30 ~ 15:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)

ワークショップ

どちらも9月1日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

子どものアトリエ「日本画絵具を使ってみよう!」

9月17日(日)10:00 ~ 12:00
講師:榎本美千子(芸術士)、池田早智
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名/受講料500円

「ロウケツ染めで世界にたった一つのハンカチを作ろう」

9月23日(土)13:00 ~ 16:00
講師:中井由希子(染色家)
3階講座室にて/対象:小学生~大人/定員15名/受講料500円・材料費1000円

ミニコンサート

「美人画に想いを寄せて」

10月14日(土)13:30 ~ 14:00(予定)
1階エントランスホール/無料
演奏曲目:亜麻色の髪の乙女、宵待草ほか

ギャラリートーク

学芸員:9月16日(土)、10月14日(土)14:00 ~
ボランティアcivi:会期中毎日曜日・祝日11:00 ~、14:00 ~
(但し10月8日[日]、15日[日]は11:00 ~のみ)
2階展示室/要観覧券

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込

友の会スペシャルイベント

ワークショップ「はじめての日本画」

10月15日(日)10:00 ~ 12:00
講師:今西彩子(鎌倉市鏗木清方記念美術館学芸員)
3階講座室にて/対象:小学生以上/定員15名(友の会会員優先)/受講料:会員無料、一般500円、材料費:一律500円/9月15日(金)8:30より高松市美術館へ電話申込



交通のご案内
JR四国▶JR高松駅下車、南へ徒歩約15分
ことんでん▶瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
バス路線▶(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩約2分(まちバス)丸亀町参番街下車、徒歩約3分(高速バス)県庁前下車、徒歩約8分
駐車場▶美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

■同時開催: **第2期常設展** 9月24日(日)まで
第3期常設展 9月28日(木)~12月24日(日)
■次回特別展:
「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.06 / 物語る物質」
2017年10月22日(日)~11月26日(日)
■高松市美術館・高松市塩江美術館共通定期観覧券(年間パスポート)
パスポート3,000円(65歳以上1,500円)発行日から、1年間、両館主宰の特別展・常設展を何度でもご覧いただけます。
■高松市美術館サポートショップ
美術館周辺のサポートショップへ特別展の半券を持っていくと、お得な特典が受けられます。※特別展会期中のみ



1 《嫁ぐ人》1907(明治40)年 鎌倉市鏗木清方記念美術館蔵
2 《遊女》1918(大正7)年 横浜美術館蔵
3 《朝涼》1925(大正14)年 鎌倉市鏗木清方記念美術館蔵
4 《祭さじき》1928(昭和3)年 福富太郎コレクション資料室蔵
5 《お夏清十郎物語》(第2回)1939(昭和14)年 神奈川県立近代美術館蔵

没後45年

鏗木清方展

Kaburaki Kiyokata

鏗木清方(明治11「1878」~昭和47「1972」)年は、明治から昭和にわたって活躍し、美人画に独自の画境を切り拓いた近代日本画を代表する画家として広く知られています。平成29年(2017)が清方没後45年となるのを機に、その画業を改めて振り返る展覧会を開催します。

清方は、明治24年(1891)、13歳のとき日本画家の水野年方(とどろき)に入門し、挿絵画家としてその画業をスタートし成功を収めます。明治34年(1901)頃からは本画制作に向かい、文展などの展覧会において評価を得、画壇の

中心画家として活躍しました。また、昭和初期からはあらたに肖像画の分野にも取り組み、人物の内面までもを画面に映し出した作品を残しました。

本画と呼ばれる展覧会場などを意識した大画面の作品に対して、自ら「私の最も興味を注いだもの」という画卷、画帖、折本などの形を取った小画面の「卓上芸術」も、清方芸術の真骨頂を示す作品群として見逃すことができません。10代から愛読した樋口一葉や、挿絵の執筆を通して20代から交流のあった泉鏡花らの文学を主題とした

物語絵など、この小芸術の形式を取った作品を数多く描き、洗練された感覚による独自の世界を展開しました。

本展は、鎌倉市鏗木清方記念美術館に御協力いただき、四国では初の清方の画業を通覧いただける回顧展となります。《遊女》、《朝涼》、《祭さじき》など多様な美人画から、《慶喜恭順》をはじめとする肖像画、文芸作品を題材にした《お夏清十郎物語》といった「卓上芸術」まで約50点をとおして、诗情あふれる清方の世界を存分にお楽しみください。